

平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月3日

上場取引所 大

上場会社名 ピープル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成25年6月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年1月期第1四半期の業績(平成25年1月21日～平成25年4月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	668	5.9	△31	—	17	△5.8	10	△0.9
25年1月期第1四半期	632	1.9	17	△68.1	18	△66.0	10	△66.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年1月期第1四半期	2.34	—	—	—
25年1月期第1四半期	2.37	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
26年1月期第1四半期	2,153	—	1,745	—	81.0	398.81	—	
25年1月期	2,239	—	1,816	—	81.1	415.16	—	

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 1,745百万円 25年1月期 1,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年1月期の配当予想につきまして、第2四半期末配当実施の有無につきましては7月中旬に、期末配当予想につきましては通期業績見通しと連動しますため、第3四半期終了し年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

3. 平成26年1月期の業績予想(平成25年1月21日～平成26年1月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,358	11.1	△65	—	△6	—	△4	—	△0.80	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第2四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第2四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年1月期1Q	4,437,500 株	25年1月期	4,437,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年1月期1Q	62,221 株	25年1月期	62,221 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年1月期1Q	4,375,279 株	25年1月期1Q	4,357,307 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. 平成26年1月期第2四半期会計期間(平成25年4月21日～平成25年7月20日)及び
平成26年1月期第2四半期累計期間(平成25年1月21日～平成25年7月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第2四半期 純利益	1株当たり四 半期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %	円 銭
26年1月期第2四半期	689	(16.8)	△ 34	(-)	△ 23	(-)	△14(-)	△3.14
25年1月期第2四半期	590	(△4.4)	△ 25	(-)	△ 25	(-)	△16 (-)	△3.66
26年1月期第2四半期累計	1,358	(11.1)	△ 65	(-)	△ 6	(-)	△4 (-)	△0.80
25年1月期第2四半期累計	1,222	(△1.3)	△ 8	(-)	△ 7	(-)	△6 (-)	△1.30

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	7
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第1四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	8
①第1四半期累計期間売上高	8
②新発売商品	8

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第1四半期累計期間

(平成25年1月21日～平成25年4月20日)

	金額	対前年同期間比
売上高	668百万円	5.9% 増
営業利益	△31百万円	-
経常利益	17百万円	5.8% 減
第1四半期純利益	10百万円	0.9% 減

当第37期第1四半期では、政府主導の大胆な金融緩和策に伴う円安・株高が急激に進み、輸出企業を中心に業績改善のニュースも流れる等、金融市場は俄かに活況を帯びてきました。しかし、玩具や自転車等の購入を牽引する消費回復には遠く、玩具等は春商戦3月頃から一層、消費に停滞感が漂いました。又、輸入に依存する当社では、極端な円安進行が仕入原価を直撃し、必然的に当四半期の利益構造に歪を与えています。

こうした環境下、当第37期第1四半期の売上高は6億68百万円、前年同期間対比5.9%増収となったのは、主に新製品を積極的に打ち出した玩具部門売上高が前年を維持し、前年同期間ではタイの洪水の影響で供給停止状態であった米国向け輸出が当期には正常化し、僅かにドル高効果も重なり総売上高を底上げしたことによります。

玩具部門では、知育・乳児カテゴリーで、前年新製品の当期定番化に加え、当四半期は計画的に新製品を発売し売上増につなげています。動物の赤ちゃんと同じ重さに作った知育ぬいぐるみ「おひぎにのんのちゃん」シリーズ3種(税抜各2,480円)は撫でると小動物のリアルな鳴き声を発します。お子様がお布団の中まで持ち込みたがる等、購入後の高い満足を引き出しています。又、「頭と体の熱中知育ボックス」(税抜6,800円)「ごきげん熱中チェア」(税抜5,980円)等はいずれも5千円を超える高額アイテムですが、発売後確実に回転が根付き流通にも好評価を得ています。乳幼児玩具ノンキャラ良品では新製品5品を一斉発売し「かみ心地2通りモコン」等、早くも発売直後からヒットの兆しも見えてきました。

女兒玩具のお人形シリーズは、3～4月の消費停滞に加えて当四半期でお世話人形の競合品が新たに出現する等、アゲインストの風も吹く中、人形販売体数は前年を維持し「ぼぼちゃんシリーズ」の支持層の根強さをうかがわせます。当四半期の新製品で、「おしゃべりおしゃぶり入り子育て10点セット」(税抜3,280円)「おやつの時間よ!」(税抜980円)はいずれも人気でぼぼちゃんごっこ遊びを引き立たせています。

前期末1月度に発売したバスターイ「お風呂の電気消して!」シリーズは低単価ですが当四半期で好調に推移し、前年末商戦で人気が高かったことから当期4月度に再発売した高額アイテム「1歳には全身でブロック」(税抜11,800円)は、広告投入もしながら当四半期の前年に無い売上に繋げています。

又、食卓用ハイチェアに1歳が自分で登れる安定設計を工夫したユニークなトイファニチャー「自分でハイチェア」(オープン価格)を2月度に発売し、発売後1.5か月で初回生産分を完売するなど、育児家具に新たな付加価値を加え需要の掘り起しに成功しています。後続の入荷までに時間を要したため当四半期の売上は限定的ですが、購入後“自分で登らせると、食事がスムーズになった!”など、買った人達の満足度は高く、ネットの口コミも始まっています。

自転車部門では昨年10月以降「いきなり自転車」新色は好調に消費者を増員していますが、前年に新製品発売があったのに対し、それが無い当四半期は、大手量販店の仕入れ調整期間と重なり国内販売売上では下振れ要因となっています。又、3月までの寒気の影響やベビーカー替りの三輪車市場の縮小傾向の中、「チェーン式スポーツ三輪車」(税抜16,000円)を発売し、市場活性化に挑戦しています。当四半期の足けり乗用市場は競合各社進出による過剰供給でシェア分散傾向を強め、当社商品「公園レーサー」の売れ行きに影響しています。

上述のように、前年同期間に比べ新製品発売キャンペーンが増えた当第37期第1四半期は、期初段階で広告販促費が先行する為営業損失を見込んでいました。その上に急激な円安進行で、市場実勢レートによる換算を余儀なくされ、原価上昇をまねいたことから、売上総利益を圧迫し、当四半期の営業利益は31百万円の損失となりました。

当第37期では当面円安トレンドが優勢とみて、急ぎ、当下半期の輸入仕入に充てるための米ドルを先物予約したことから、時価評価で当四半期営業外収益に大きく反映されています。(四半期損益計算書6ページ参照)その為、経常利益は17百万円、第1四半期純利益は10百万円となりました。尚、このような当期特有の損益計上は、先物予約した米ドルの消化完了まで営業外損益で時価評価益が増減しながら継続していきます。

又、長きに渡り岡山地域の間屋業をされていた取引先の株式会社いろは堂が、当四半期の3月18日に民事再生法の申請を行い、それに伴い売掛債権の未回収金1百万円が生じておりますが、予め準備した信用保険にて95%補てんされる見込みであることをご報告申し上げます。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から85百万円減少の21億53百万円となりました。

流動資産は、配当金及び法人税等の支払による現金及び預金が減少した一方で、期初に取得した為替予約が計上され、19億96百万円となりました。負債合計では、未払法人税等の減少等により前事業年度末から14百万円減少の4億9百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より72百万円減少の17億45百万円となり、結果、自己資本比率は81.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、期首より2億90百万円減少し（前第1四半期累計期間比較では95百万円の減少）11億53百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加やたな卸資産の増加、法人税等の支払により2億9百万円の支出（前年同期間比較では8百万円の支出の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により6百万円の支出（前年同期間比較では19百万円の支出の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により75百万円の支出（前年同期間比較では67百万円の支出の減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第37期の玩具部門は新製品発売計画が第1四半期に集中し、次期第2四半期では新発売点数が前年比減少する計画であることや、又、自転車を含めた国内市場における消費低迷からの回復は、次期第2四半期で見込みにくいと予想しています。一方、海外販売部門では次期第2四半期においても順調に売上を伸ばす見込みもある事から、次期第2四半期会計期間の総売上高は17%程増収を見通しています。

しかし依然として、1ドル100円が下限と見える円安トレンドは、輸入に依存する当社には今後も原価に影響し、自動的に営業利益への圧迫を余儀なくされる傾向を強めています。

当期特有の為替レートの推移次第で先物予約した米ドルの時価評価計上を含め、利益見通しは変動する前提となり不透明ではありますが、現段階では次期第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間においても、売上高が前年実績を上回ったとしても営業損失を余儀なくされる見込みで、経常損失も想定範囲に見通しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年1月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年1月20日)	当第1四半期会計期間 (平成25年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443,376	1,153,326
受取手形及び売掛金	364,440	423,574
商品	256,824	358,115
原材料	6,886	5,363
為替予約	—	44,222
その他	15,063	11,754
貸倒引当金	△692	△805
流動資産合計	2,085,897	1,995,548
固定資産		
有形固定資産	51,600	49,507
無形固定資産	1,755	1,457
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	99,373	106,918
投資その他の資産合計	99,401	106,946
固定資産合計	152,756	157,909
資産合計	2,238,653	2,153,457
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,694	231,792
未払法人税等	70,352	2,149
その他	85,151	123,239
流動負債合計	372,197	357,180
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
繰延税金負債	—	1,362
固定負債合計	50,000	51,362
負債合計	422,197	408,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,442,995	1,365,749
自己株式	△33,255	△33,255
株主資本合計	1,811,246	1,734,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,210	10,915
評価・換算差額等合計	5,210	10,915
純資産合計	1,816,456	1,744,915
負債純資産合計	2,238,653	2,153,457

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年4月20日)
売上高	631,518	668,483
売上原価	337,106	392,709
売上総利益	294,412	275,774
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	88,977	105,509
販売促進費	10,068	17,932
運賃	40,134	40,263
役員報酬	15,061	15,061
給料及び手当	28,064	28,726
支払手数料	15,223	14,484
研究開発費	48,468	35,651
その他	31,160	48,662
販売費及び一般管理費合計	277,155	306,287
営業利益又は営業損失(△)	17,257	△30,513
営業外収益		
為替予約評価益	—	44,222
為替差益	727	3,197
その他	209	231
営業外収益合計	936	47,649
経常利益	18,193	17,136
特別損失		
固定資産除却損	6	—
特別損失合計	6	—
税引前四半期純利益	18,187	17,136
法人税、住民税及び事業税	139	1,466
法人税等調整額	7,699	5,411
法人税等合計	7,838	6,877
四半期純利益	10,350	10,259

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	18,187	17,136
減価償却費	13,205	6,781
為替予約評価損益 (△は評価益)	—	△44,222
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,622	△59,133
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△323	△99,767
仕入債務の増減額 (△は減少)	△78,595	15,098
その他	49,397	23,050
小計	△112,751	△141,057
利息及び配当金の受取額	3	4
法人税等の支払額	△88,685	△68,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,433	△209,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,087	△5,780
無形固定資産の取得による支出	△376	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,462	△5,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△142,661	△75,057
その他	167	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,494	△75,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△368,409	△290,004
現金及び現金同等物の期首残高	1,616,748	1,442,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,248,339	1,152,939

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第1四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

① 第1四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	205,399	228,950	111.5
女兒玩具	141,310	129,693	91.8
遊具・乗り物	196,602	140,136	71.3
その他	88,205	169,705	192.4
合計	631,518	668,483	105.9

② 新発売商品

カテゴリー名	当第1四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「ごきげん熱中チェア」	¥6,279
	「おひぎにのんちゃん」(シバ・ウサ・モル)計3種	各¥2,604
	「頭と体の熱中知育ボックス」	¥7,140
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「オルゴール音の枕元メリー」	¥1,554
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「カシャカシャ ガーゼ&おしゃぶり」	¥819
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「発見いーっぱい! お手てガラガラ」	¥819
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「頭と体の発達を促す ダイナミック体操」	¥1,239
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「これなら安心 かみ心地2通りモコン」	¥525
	ノンキャラ良品ベビーシリーズ「引っぱるとカシャ ピカッ」	¥924
女兒玩具	お人形「桜のぼぼちゃん」	¥4,599
	着せかえ「桜のフレアトップス」	¥1,470
	お人形「ちいぼぼちゃん ミルク&スリーパー付き」	¥4,389
	「おしゃべりおしゃぶり入り 子育て10点セット」	¥3,444
	お人形「よちよちぼぼちゃん うさぎファッション」	¥4,389
	「おやつ時間よ!」	¥1,029
遊具・乗り物	「チェーン式 スポーツ三輪」(ルビー)	¥16,800
	「ピットタンコ自転車」(グリーン、オレンジ)計2色	各¥20,790
	「1歳には全身でブロック」	¥12,390
その他	「自分でハイチェア」(グリーン、レッド)計2色	オープン価格
	バストイ「おふろの電気消して! 夜釣りバトルセット」	¥892
	バストイ「おふろの電気消して! 光る生きもの」 (イカ、クリオネ、フグ、ミズクラゲ、クマノミ)計5種	各¥450
	バストイ「おふろの電気消して! 専用発光体」	¥450